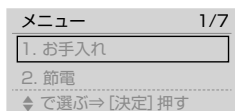


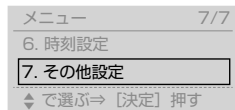
設定を変える

その他設定

1 メニュー/戻る 押す



2 で「その他設定」を選ぶ

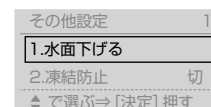


押す

便器の水たまり面を下げる
(水の跳ね返り低減や検便のときなど)

水面下げる

3 で「水面下げる」を選ぶ



押す
便器内の水が流れて低い水位でたまる

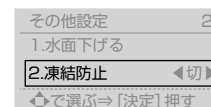
お知らせ

・便器洗浄すると、通常の水面の高さに戻ります。
水面を下げた場合に、都度設定してください。

便器とウォシュレットの水を一定の間隔で自動で流す

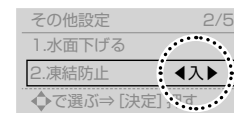
凍結防止

3 で「凍結防止」を選ぶ



4 で「入/切」を選ぶ

<「入」に設定する場合> 設定すると約10分間隔で便器洗浄して凍結を防止します。



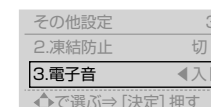
押す
10分間隔で便器洗浄しますか? 設定する?
 で「はい」を選ぶ

押す
凍結防止を入に設定しました
(戻るとき→)

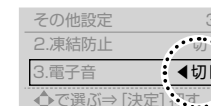
電子音を鳴らす/鳴らさない

電子音

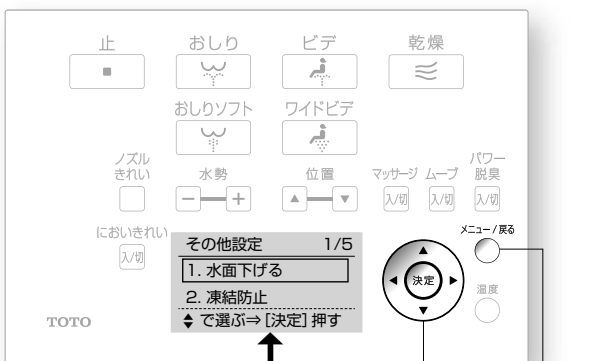
3 で「電子音」を選ぶ



4 で「入/切」を選ぶ



押す
電子音を切に設定しました
(戻るとき→)



で項目の枠を動かし、
 で設定を選び、
 で決定する

- この画面での設定項目
1. 水面下げる
 2. 凍結防止
 3. 電子音
 4. 便器洗浄水量 6Lモード
 5. 便器洗浄水量 8Lモード

必要なとき

こんなときは

凍結予防をするとき

外気温が0℃以下になるときは、凍結予防を行ってください。

・便器の種類によって凍結予防のしかたが異なります。便器の種類に合わせて、作業してください。

お願い

- ・外気温が0℃以下になるときは、節電しないでください。(製品が破損するおそれ)
- ・周囲の温度が0℃以下にならないよう、トイレ内を暖めるか、凍結予防を行ってください。
- ・作業前に、「オート便器洗浄」(P.40)「オートふた開閉」(P.42)を「切」にしてください。

流動方式

便器とウォシュレットの水を、一定の間隔で自動で流して、凍結を予防する方法です。

■設定のしかた (P.50)

- ・リモコンで「凍結防止」を「入」にしてください。

凍結防止中は、次のように作動します。

- ・「運転」ランプが点滅する
- ・約10分間隔で便器洗浄する
- ・約50mlの水が約5分間隔でノズル付近から出る(ノズルは収納したまま)



ヒーター付便器・水抜併用方式

1 水抜栓を操作して、給水を止める

お願い

- ・止水栓は開けたままにしておいてください。(製品内部の水が抜けずに凍結破損するおそれ)



2 ノズルきれい 押す

- ・ノズルカバーが開く(給水管の圧抜き)

3 電源プラグを抜く

4 配管の水を抜く

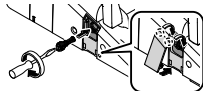
- ①カバー・給水フィルター付水抜栓を取りはずす

- ・給水フィルター付水抜栓を⊖ドライバーでゆるめたあと、引っ張る



- ②水抜きが終わったら、給水フィルター付水抜栓・カバーを取り付ける

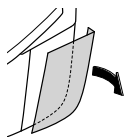
- ・給水フィルター付水抜栓を押し込み、⊖ドライバーで確実に締める



5 電源プラグを差し込む

- ・「運転」ランプが点灯する

6 すっきりパネル(右)を取りはずす



7 タンクの水を抜く

- ・すっきりパネル裏面のラベル「タンク内水抜き作業手順」参照

8 便座温度を「高」にする (P.22)

- ・保温のため、作業後は便座・便ふたを閉めておく

■再度ウォシュレットをお使いになるときは

- ・再通水が必要です。(P.59)

お知らせ

- ・ヒーター付便器は室温が5℃以下になると自動でヒーターが入ります。
- ・凍結のおそれがないときは、ヒーター付便器の電源プラグを抜いておいてください。

長期間使わないとき

別荘などのトイレを長期間使わないときは、水抜きをしてください。

(タンク内の水が腐敗して皮膚の炎症などをおこす原因)
(凍結して製品破損などをおこす原因)

ご注意 ・「お掃除リフト」(P.32)で本体が上がった状態での水抜きはしないでください。

水抜きのしかた

- 1 ■流動方式のとき
止水栓または元栓を閉める(P.4)
■ヒーター付便器・水抜併用方式のとき
水抜栓を操作して、給水を止める(P.58手順①)

お願い

- ・止水栓は開けたままにしておいてください。

- 2 を押してタンクの水を抜く

- 3 押す

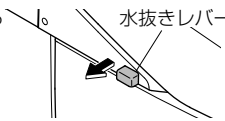
- ・ノズルカバーが開く(給水管の圧抜き)

- 4 電源プラグを抜く

- 5 配管の水を抜く(P.58手順④)

- 6 水抜きレバーを引き出す

- ・ノズル付近から水が出る(約20秒)



- 7 手を離し、水抜きレバーを元に戻す

- 8 ■ヒーター付便器・水抜併用方式のみ
便器内のタンクの水を抜く

- ・すっきりパネル裏面のラベル「タンク内水抜き作業手順」参照

■凍結のおそれがあるときは

- ・便器のたまり水(封水)に不凍液を入れるなどして凍結しないようにしてください。(不凍液はそのまま流さず、使用前に回収し、廃棄処分してください。)

■再度ウォシュレットをお使いになるときは

- ・再通水が必要です。(下記)

再通水のしかた

- 1 止水栓または元栓を開ける (P.13)
または、水抜栓を操作して、給水する

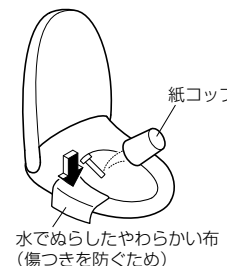
- ・配管やウォシュレット本体から水漏れしていないことを確認する

- 2 電源プラグを抜いているときは
電源プラグをコンセントに差し込む

- ・「運転」ランプが点灯する

- 3 ①ノズルから水を出す

- (1) 便座の左側を押したまま、
- (2) リモコンの「おしり」ボタンを押して、ノズルから水を出す
・水は紙コップなどで受けてください。
- (3) リモコンの「止」ボタンを押す



- ② を押す

- ・便器に水を流しながらタンクに給水します。ウォシュレット本体表示部のランプが点滅し、給水が完了すると点灯に変わります(最大約80秒)。
※給水が完了するまで便器洗浄できません。タンク給水中はすべての操作をしないでください。

■残水が凍結して水が出ないとき

- ・トイレ内を暖め、お湯に浸した布で給水ホースと止水栓を温める

- 4 便器に水がたまってから、もう一度 を押す

必要なとき